

おおきくなーれ!!

みてみて!うちの子

のむら みおん
野村 美音ちゃん
吉川町

- ★平成20年8月6日生まれ
- ★祐也・登詩子さんの三女
- ★ご両親から...
元気で明るく、
すくすくと育ってね。



しおた あゆむ
塩田 歩夢くん
野市町

- ★平成20年10月12日生まれ
- ★良浩・美保さんの長男
- ★ご両親から...
動き回るのがとっても大好き。
すくすく元気に育ってね。



さかい りく
坂井 稜空くん
吉川町

- ★平成20年7月19日生まれ
- ★英貴・ゆかりさんの長男
- ★ご両親から...
元気で優しい子に育ってね。

おおきくなーれ

このコーナーでは市内在住で2歳の誕生日までのお子さんを紹介しています。ぜひ、この機会にお子さんを広報に掲載してみませんか?載せたい写真をご用意のうえ、下記まで連絡してください。たくさんのお応募をお待ちしています。

■連絡先 市役所総務課 秘書広報係 ☎ 56-0511

雑草と石ころだらけの物部川の河川敷にパークゴルフ場が完成し、オープンして三年を迎える。多くの人を引き寄せているパークゴルフ場は魅力満載で、何より東西18ホールの各待機所に設けられた腰掛けや日よけなど、やさしさが嬉しい。かく言う私も、雨二毛負けず、暑い夏



ノ日ザシニモ、肌サス冬ノ寒サニモメゲズ通い続け、介護予防に努める一人だ。高知国体時に民泊家庭を共に体験したご縁の老友がいる。彼女は一人娘の家族と半同居の形で暮らし、木彫りや編み物、洋裁に書道など、手仕事の達人で屋敷に続く広い畑で花作りを楽しむ。ある日、彼女の生活に広がりを感じ、思い切っ

八十二歳のパークゴルフデビュー

てパークゴルフ場に拉致された。「折角だからクラブを握ってみて。ボールを打つてみて」と誘ったところ、意外にすんなりとは体験を楽しんでくれた。彼女の年齢は八十二歳。家でパークに行つた話を聞き、大学

生の孫が「バーチャン、きつとハマルぜ!」と笑つたという。孫息子の予感的中した。まずは手袋購入。次は娘を伴いシューズを買いに。「万歩計が初めて一万歩を超えた日」にはマイボール購入。次の日は年間パスポートを、と走り出したら止まらない。ゴルフ場では、旧知の友や後輩を迎えられ、弾む話に笑顔が満開。家でも、表情が変

わつた、よく眠るようになった、対話が多くなつた等々!娘さんが嬉しそうに報告してくれる。器用な彼女は年齢のハンデを全く感じさせないプレーでスコアをぐんぐん伸ばし、毎日一万歩を優に超す名前前に恥じない「万歩計」に大喜びしている。ついにハムマッタ八十二歳。私も負けてはいられない。(野市町・ひとりしずか)

※市内在住者に依頼し、コラムを書いてもらうコーナーです

きみ 僕はYOUしか見えない...

足達

こじやんと!こうなん! 18

香南市を「こじやんと」紹介する「香南市観光協会」のコーナーです

海山 KANAN CITY 観光協会 ☎ 56-5200

あの鐘を鳴らすのはあなた~♪

内村

香南の〇〇で愛を叫ぶ!?

皆さん、こんにちは。夏のイベントが終わり、なんだか大好きな夏が終わってしまうという寂しさもありますが、秋は「食欲の秋」「読書の秋」と言ってこれはこれで大歓迎!!

そこで、今年の「秋」は「出会いの秋」にしてみませんか?当協会では、高知県の「平成21年度 こうち出会いのきっかけ応援事業」に取り組むこととなりました。名づけて「香南 de 婚かつスペシャル」!!

●日時:10月3日(土) ~4日(日)

●場所:香南市内各所

●行程(予定)

★1日目

のいち駅(集合)→赤岡町 弁天座・絵金蔵(エコパック作り・昼食)→夜須町シースポ(シーカヤックまたはヨット)→夜須町羽尾大釜荘(バーベキュー) 泊

★2日目

大釜荘→ウォーキング(アップダウンの少ない足に優しい山道)→長谷寺(座禅体験・昼食)→のいち駅(解散)



- 対象:20歳以上の独身男女
- 参加費:男性6,000円・女性5,000円

香南市の自然を満喫しながら、楽しくデートしてみませんか?きっと素敵な「なにか」が見つかるはず!!参加申込書は当協会HPよりダウンロードできます。

●主催・申込み・問い合わせ
観光協会 ☎ FAX 56-5545

特産品をイベントでPRしませんか?

当協会会員様を対象に、下記イベントに出店していただける方を募集します。詳細はお問い合わせください。

●開催日・イベント名・場所

*10月17日(土)

「空の日」高知龍馬空港

*10月23日(金)~25日(日)

「ふるさとまつり」

高知市鏡川河畔みどりの広場

*11月8日(日)「ポリテクカレッジフェスタ」野市町

●問い合わせ 市観光協会 ☎ 56-5545



文芸

野市短歌会

腰やすめる畦に四ツ葉のクローバーみつめて懐かし少女にもどる
上窪美津子

憩へとぞ茅葺茶屋の年を経し水車ゆつくりおっとり廻る
野村 静

幼日に見し半夏生何処行きし今日半夏生はるかな想ひ
柚木村香子

雨音に目覚めて半夜の庭に見る今日と明日の間の夕すげを
小松 宏子

年のゆく老の五体を守らんと今日は齒科医の受付に立つ
野崎千恵子

老犬は「けふも散歩は駄目だ」と門辺に雨の空を見上げる
池知つたえ

裏の木の巢より落ちたる鴨の雛はわが手の中でねむれり
中根 純子

しあわせはかくもつつまし味噌汁の湯気に眼鏡のくもり行く時
窪田すず子

この嵐すぎれば梅雨もあけるかと揉まるる稲を窓に見つめる
国吉 寿亀